

北海道産業競争力強化戦略(案)概要

～20年後を見据えた北海道の持続的成長に向けて～

資料1

現状

【直面する重大な危機】

- ・ 人口減少等に伴う地域経済の加速的衰退の懸念
- ・ 経済規模の縮小、域際収支の大幅赤字

【食と観光の圧倒的に高い潜在力】

- ・ 全国一の豊富な農林水産資源
- ・ 豊かな自然等の数多くの観光資源

克服すべき3つの課題

- ① 地域資源の発見力の弱さ・付加価値の低さ
- ② 地域内・地域間・業種間連携の弱さ
- ③ 人材の不足

直面する危機を回避し、圧倒的に高い潜在力を活かして
「食」「観光」関連産業を成長させ、
国際競争の中で勝ち抜いていくことにより、
北海道の持続的成長につなげていく

課題を克服し目指すべき将来像

～世界に冠たる” HOKKAIDO ”～

産業： 食、観光を核として様々な企業が連携、関連事業者の持続的成長、傑出したグローバル企業の輩出
地域： 過疎化の克服、定住人口・交流人口の増加、地域を支える機能の維持
個人： 各地域でライフスタイルに応じた働き方、それに見合う報酬や充実感

目指すべき将来像に向けた取組

食・観光関連産業振興

- ✓ マーケット・ニーズを踏まえた高付加価値製品開発、ブランド戦略、流通・販売戦略による成功事例輩出
- ✓ 民間主導の地域内連携(地域全体でのおもてなし)、地域間の連携(広域的なブランド確立・観光プラン提案)、業種間連携の加速化(農商工連携等による6次産業化)、産学官連携の推進

食・観光との一体的な産業振興

地域を維持するヘルスケア産業育成

- ✓ 医療・介護機関と食関連事業者等が連携した道産食材活用ビジネスモデルの構築、地域の多様な連携によるコミュニティや健康サービスの充実等による新たなヘルスケアサービスの創出
- ✓ グレーゾーン解消制度や企業実証制度等も活用

経済の根幹を支えるものづくり産業振興

- ✓ 一次製品の加工処理作業の効率化・省力化、鮮度保持等に係る機械・装置の開発・改良、高付加価値製品開発のための技術開発、新たなイノベーションの創出

人材育成・確保

- ✓ 起業家教育や地域経営、マーケティング、観光学等のカリキュラム増設による人材育成機会の充実
- ✓ 若者、女性、高齢者等の多様な地域経済の担い手の活躍のための環境整備

産業を支える基盤づくり

- ① 食やものづくり産業に係るインフラ充実(試験研究設備等)
- ② 観光・物流インフラ充実(北海道新幹線、高規格幹線道路、港湾等)
- ③ エネルギーインフラ充実(北本連系線の更なる強化等)
- ④ バックアップ拠点機能強化(ICTインフラ基盤の整備の加速等)